

退任のご挨拶



学生時代より長年の間、さまざまな立場でイアエステ活動に関与してきましたが、80歳の傘寿を迎えた今年で理事長を退任させていただくことになりました。東大工学部4年生の1963年春、IAESTEより参加要請の手紙があり工学部丁友会^(注1)渉外部の私が担当になり、1964年1月スイスのルツェルンで開催される年次総会に出席することになりました。当時は学生の海外旅行は厳しい制限がある中でしたが諸先輩のご支援で土木工学科の高橋大輔、池田甫と3人で欧州各国を自転車で巡り、活動状況を事前調査することにして1963年9月にシベリア鉄道経由で欧州に向かいました。

幸い総会で日本の準加盟が承認され、研修が始まりました。帰国後は東京と関西の主要大学と産業界が連携して活動を進めることになり、任意の運営団体として国際学生技術研修協会を立ち上げ、学生主体で運営することになり私が初代事務局長となりました。

その後、60年近くの長い間、私の留学時を除いて、様々な形でその活動に関与させていただきました。これも相互交換による国際研修という趣旨にご賛同いただいた関係者各位の暖かいご支援、ご鞭撻の賜物と感謝しております。

振り返りますと、イアエステとの出会いは私の人生、研究分野の選択や米国ハーバード大学留学などにも大変幸運な機会を与えてくれたと感じています。初の国際総会出席時に訪れたロンドンでは私の都市交通計画研究の基本テーマとなるブキャナン・レポート^(注2)との出会いがあり、また東南アジアへのイアエステ活動普及遠征で知り合ったICU（国際基督教大学）関係者との出会いが米国留学の一つの契機となりました。

私だけでなくイアエステでの海外研修の経験は、様々な形で参加者の人生を豊かにする契機になったかと思います。コロナ禍や紛争など交換業務の継続が困難な状況ですが、イアエステの国際的な交換研修の意義は、世界の未来を担う若者たちの育成にこれからも大きく貢献するものと信じており、イアエステ活動の持続的発展を祈念しています。

以上、簡単ですが、理事長退任のご挨拶にしたいと思います。

令和4年6月

太田 勝敏

(注1) 工学部学生・教職員の親睦団体

(注2) 都市における自動車交通の受け入れ方についての英国政府審議会報告書で都市交通政策の古典的テキスト。なお、土木学会誌2022年3月号の「わたしの本棚」でこの辺の状況を紹介しました。
わたしの本棚：土木学会誌, 2022, 107, 3, p. 64-67